

## ★えほん★

### 「たなばたにようぼう」

常光徹／文 野村たかあき／絵 童心社 **E1タナ**

あざやかな版画で、たなばた伝説を語る絵本。珍しいのがお話

の中にキツネが出てくること。キツネの導きで若者は天女と会うことになる。後半は、興味深い天上での出来事と天の川の成り立ち。



### 「ひとりになったライオン」

夏目義一／文・絵 福音館書店 **E3ナツ**

サバンナで一番つよいライオン。でもわかいライオンはかそくとはなれてはじめてひとりになった。ライオンだってころほそい。でも、自分でえものをつかまえないと。そこにシマウマがあらわれた！



## あたらしい本のコーナー

### 「ヒルダさんと3びきのこぎる」

クエンティン・ブレイク／文 エマ・チチェスター・クラーク／絵  
むらおかみえ／訳 徳間書店 **E4クラ**

ティム、サム、ルルは元気な3びきのこぎる。ヒルダさんが出かけるといたずらばかり。あるひ、ヒルダさんは「ぜったいのぜったい、おとなしくしているのよ。わすれたらただじゃおきませんからね！」と出してかけたが……。



### 「ひろくんとおいら」

阪口笑子／さく・え 岩崎書店 **E3サカ**

おいらねこのスナウト。ひろくんがくちぶえふくとおいらもうれしくておどっちゃう。でもひろくんはいたずらっこ。おいらがみつけたヨーヨーをもっていっちゃったよ。おいらのいはだいはばくはつだ!!



## ★よみもの★

### 「あぐり☆サイエンスクラブ 春」

堀米薫／作 黒須高嶺／絵 新日本出版社

**931ホリ**

まなぶは小学五年生。ある日、「あぐり☆サイエンスクラブ」のチラシを拾った。よくわからないけど、「野外活動」や「科学を体験」という文字が書いてある。おもしろそうだと思っただけで、さっさと申し込みをしてしまったのだが……。



### 「くじらじゃくし」

安田夏菜／作 中西らつ子／絵 講談社

**931ヤス**

むかしむかしの大阪に、ちょっとわがままで、ちょっと負けずらいで、たいへん力もちなイトはんがいた。だれも飼ったことのないペットがほしくて、丁稚の定吉に命じてさがしに行かせるのだが……。



### 「メリーメリーおとまりにでかける」

ジョン・G.ロビンソン／作・絵 小宮由／訳  
岩波書店 **932ロビ**

メリーメリーは五人きょうだいのすえっ子。おねえちゃんおにいちゃんからはいつもあかちゃんあつかい。「だめだめ、メリーメリーは。あっちにいったら」そんなふうにいわれても、メリーメリーはもちろん、あとについていく！



### 「ケータイくんとフジワラさん」

市川宣子／作 みずうちさとみ／絵 小学館 **931イチ**

電気屋さんで売れのこっていた古いガラケーのケータイくん。やっと売れたけど、買ったのはおじいさんで、ばかでかい人形のかざりをつけてしまい、なんだかがっかり。でも、おじいさんちのちゃぶ台から「おまえはほんとうにいいご主人に買われてきたんだぜ」と言われて……。



## ★しらべもののほん★

### 「空を飛ぶ昆虫のひみつ」

星輝行／写真・文 少年写真新聞社 **486**

今から4億8千万年前に昆虫が地球にあ

らわれてから、8千万年たってはじめて羽を持つ昆虫が登場。どうやって羽ができて進化していったのか、羽の種類や使い方など空を飛ぶ昆虫のひみつをのぞいてみない？



### 「どこじゃ？かぶきねこさがし」

#### かぶきがわかるさがしもの絵本

瀧晴巳／文 吉田愛／絵 松竹株式会社／協力 講談社 **77**

かぶきって見たことある？「勧進帳」など5つの有名な演目をねこたちが演じて、あらすじや見どころ、名せりふを紹介。ページいっぱいひろがる舞台や客席でさがしものもできるよ！



### 「ようこそ！花のレストラン」

多田多恵子／写真・文 少年写真新聞社 **47**

みつと花粉のごちそうを用意して花のレストランがオープン。花びらのかざりやかおりにさそわれて、むし虫のお客さんがやってきた。だれでもどこのファミリーレストランもあれば、お客さんをえらぶレストランもあるよ。支払いは花粉を他の花に運ぶこと。



### 「ひらけ蘭学のとびら」

#### 「解体新書」をつかった杉田玄白と蘭方医たち

鳴海風／著 関屋敏隆／画 岩崎書店 **49**

人の体のしくみがよくわかっていなかった江戸時代。医者杉田玄白は罪人の死体を観察して、オランダの医学書の解剖の絵とそっくりだと気づいた。そこで、その本を翻訳しようと……。

